

第34回 炉内構造物等点検評価ガイドライン検討会 議事概要

1. 日 時：平成20年5月16日(金) 13:30～17:20

2. 場 所：日本原電本店第2・3会議室(神田美土代ビル)

3. 出席者(順不同 敬称略)：

委員：野本委員長(東大名誉教授)、関村副委員長(東大)、安藤(博)委員、安藤(柱)委員(横国大)、辻川委員(東大名誉教授)、西本委員(大阪大)、橋爪委員(東北大)、吉田幹事(関電)、堂崎幹事(原電)、坂下幹事(東電)、笹田委員代理(北海道電)、丹治委員(東北電)、肥田委員(中部電)、石沢・鈴木委員(東電)、野村委員(関西)、小林委員代理(中国電)、石川委員代理(四国電)、青木・師尾委員(原電)、鞍本委員(電発)、小山委員(三菱重)、伊東委員(日立GE)、元良委員(東芝)、杉江委員(原技協)

参加者：工藤(NISA)、山本・菊池(JNES)、岡田(東電)、進藤(中部電)、木村(関電)、末園(東芝)、事務局：関(原技協)

4. 議事概要

(1) 前回議事録確認

前回議事録案を確認し、承認された。また、交代委員・参加者の紹介があった。

(2) ガイドラインの発行状況と整備工程について

ガイドラインの発行・改訂状況と、その後の機械学会での維持規格策定状況、国の技術評価の動向について報告があった。

(3) 保全活動に係わる技術の適用プロセスの検討

保全新技术の実機適用をタイムリーに実施していくための要件・課題について説明があった。

(4) 炉内構造物点検評価ガイドラインについて

個別ガイドラインの上位概念にあたる資料構成案について、前回議論を踏まえた進捗状況の説明があり、検討を継続することとなった。

(5) 予防保全工法ガイドライン(案)[水中レーザークラッド溶接工法]

水中レーザークラッド溶接技術の検討案について説明があり、検討を継続することとした。

(6) 予防保全工法ガイドライン「研磨による応力改善工法」について

SCC予防保全技術として、研磨による応力改善工法のガイドライン検討を継続することとした。

(7) BWR炉内構造物点検評価ガイドライン [シュラウドサポート] (第3版) (案)

未点検部位の取扱い見直し結果をガイドラインに反映した第3版が発行承認された。

(8) BWR炉内構造物点検評価ガイドライン [炉心シュラウド] (第4版) (案)

未点検部位の取扱い見直し結果をガイドラインに反映した第4版が発行承認された。

(9) BWR炉水条件におけるNi基合金SCC進展速度線図改訂の検討状況

JNESのプロジェクトで取得されたデータをもとに、Ni合金のより信頼性の高いSCC進展速度線図の策定が進められており、検討状況の報告があった。

(10) 蒸気発生器入口管台溶接部での傷の発生事象(続報)

蒸気発生器入り口管台のその後の点検結果、詳細調査の状況報告があった。

(11) その他、保全学会より本検討会に、7月上旬に水戸市で開催予定の学術講演会・保全技術セッションへの協力要請があったことから、トピックス数件の発表を行う旨、報告があった。

以上